



女性・若手技術者

仕事のやりがい語る

JABMEE
中国・四国
広島市で講演会

建築設備技術者協会(JABMEE)中国・四国支部(佐藤大三支部長)は4日、広島市中区の広島YMCAで次世代技術者のための講演会「活躍されている女性・

若手技術者たち」を開いた。参加した多くの若手技術者や学生らは、仕事の内容ややりがいなどについての講演を通じて設備業界の魅力に触れた。

同講演会は、JABMEE中国・四国支部と建築設備六団体協議会設備女子支援ネットワーク、JABMEE設備女子会が「もっと女性が活躍できる建設業」地域協働推進事業の一環として共催した。冒頭、主催者を代表し

佐藤支部長があいさつし、「女性や若手技術者がいかに多くの仕事に関わり、社会に貢献しているのか、建築設備士が魅力ある重要な資格者であるのか、若い世代に知っていたら機会。これから就職を目指す学生にとって、進路の検討の一助になれば幸い」と述べた。

高砂熱学工業広島支店フアシリティ・ソリューション部の堀本恵さんが「建設業で女性は活躍できるのか」、中電工営業本部設計部空調管設計担当の小野めぐみさんが「入社10年目を迎えるにあたって」、三機工業中国支店建築設備技術部の黒部太希さんが「現場監督として働くということ」、中国電力管財部門建築総括・発電グループの廣田りつ子さんが「働き続けることと仕事と子育ての両立」と題して講演し、仕事の内容・成果・やりがいなどについて話した。

写真。講演では、三建設備工業中国支店技術部の山成沙弥さんが「設備と向き合って5年目にして思うこと」、日立アプライアンス中国支店営業部の小森元樹さんが「空調業界を取り巻く環境とメーカー営業担当者の活動」



あいさつする佐藤支部長



女子会との記念撮影

若手や学生らの刺激に 建築設備技術者協会中四国支部 講演会で6人がやりがい語る

(一社)建築設備技術者協会中国・四国支部(佐藤大三支部長)

藤大三支部長)による第3回「次世代技術者のための講演会」活躍されている女性・若手技術者たち」が4日、広島市中区の広島YMCA2号館で開催され、行政や設備関係のメーカー、技術者ら160人余が参加。若手の営業、技術者らによる講演を通して設備の仕事の魅力を再認識した。講演に先立ち、佐藤支部長が「東京本部での『建築設備士の日』記念行事は今年で5年目となるが、会場には500人を超える参加があり盛り上がりを見せた。当支部で

も、建設業や設備業界で働く女性や若手技術者がいかに多くの仕事に関わり、世の中に貢献しているかを、若い世代に知っていただくと同時に、建築設備士が魅力ある重要な資格者として周知いただく機会として開催したが、この講演が若手や就職を目指す学生にとって刺激となり、これからの進路検討の一灯となれば幸い」と挨拶。

また、3年前に制定したカーボンニュートラル賞について「いくつかのエントリーの中から、特にCO₂の削減が顕著であった『阿波銀行の全館LED照明と太陽光発電による照明エネルギーの実現』が賞の荣誉に輝いたほか、中国電力の『木社ビルの省CO₂改修』で支部奨励賞を受賞されている」と紹介し、建築設備士の役割を強調した。

その後、講演に入り、山成沙弥さん(三建設備工業)、小森元樹氏(日立アプライアンス)、堀本恵さん(高砂熱学工業)、小野めぐみさん(中電工)、黒部大希氏(三機工業)、廣田りつきさん(中国電力)の若手技術者が20分の持ち時間で自己紹介や会社のPRを含め仕事の業務内容ややりがい、成果などをまとめ上げ発表した。

閉会挨拶で、設備女子会支援委員会の平台一英委員長が「年々、講演の内容が充実しており、これからの業務に生かしてほしい」と締めくくった後、懇親会も行われ、参加者同士で親睦が図られた。